

To Forward

～前に向かって～

2023年10月1日

加中人権スローガン

「気づき・考え・行動する」

めざす学校像

「希望と笑顔あふれる楽しい学校」

毎年、9月になっても残暑が続く「暑いなあ」という言葉が挨拶のようになっていきます。今年は特に残暑が厳しく9月終盤になっても、真夏日、所によっては猛暑日が続いています。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉がありますが、そろそろ秋本番を迎えたいですね。

さて、前期の学習が終わりに近づいてきました。春にみなさん自身が立てた目標に向かって生活できたでしょうか。短い秋休みを挟むとすぐに後期が始まります。前期に頑張れたことは継続し、あまり頑張れなかったことは、後期にもう一度やり方や考え方を見直して再チャレンジしてください。

10月17日は「貧困撲滅のための国際 day」(国連制定)という日だそうです。みなさんはユニセフ (UNISEF) が毎年公開している「世界子供白書」というものを知っていますか？学校の図書室には、それを基に書かれた『世界の子どもたちに今おきていること』(葉 祥明 著, 2006年刊)という小さな本が置いてありますが、読んだことがありますか？戦争や紛争で国が荒れたり、大きな災害や飢饉が起こったりして、日々の日常生活を送る事さえままならない世界中の子どもたちの現状が短い文章や分かりやすい数字で書かれており、その内容を理解しやすい本です。

「学んでどうということ？」という問いに私の娘がこう答えました。「世界を知ること。」自分の周りで起きていることからたくさん学ぶことができますが、同時に大きな視野で世界を見る、世界を知ることでも大切な「学び」です。世界で起きていることを「解決できない問題」「私には関係ない」と考えることは、身近にある人権問題にも気付かない、ということと同じことだと思います。この「世界の貧困」についても、一人一人が自分自身で調べてみてはどうでしょうか。

法務局第41回全国中学生人権作文コンテスト法務大臣政務官賞

「知ること、考えることは守ること」

宮城県 村田町立村田第二中学校 3年 小関ソフィア

私は、日本に生まれ育ち、平和な毎日を送っています。時には悩むこともありますが、それは生活を脅かすようなものではありません。しかし、今現在、平和な生活どころか、命まで脅かされている人々がいるのです。

『戦争』・・・私はこの言葉を歴史の中の遠い出来事だと思っていました。でも、今年になって突如としてこの言葉が身近なものになってしまいました。

ロシアによるウクライナ侵攻。

たくさんの罪もない人たちの幸せな暮らしを、そして大切な命を奪う恐ろしい戦争が、今、実際に起きているのです。

私の母はウクライナ人です。ウクライナには今も祖父と祖母、叔父が暮らしています。

やさしい笑顔の祖母は、ウクライナで料理人をしていました。その影響もあってか、母は時々、ボルシチやピロシキなどのおいしい料理を作ってくれます。母のふるさとウクライナは私にとっても、大切な場所です。

私が最後に家族とウクライナを訪れたのは、十年以上前で、まだ小さい時ですが、お店が立ち並ぶきれ

いな街並みをうっすらと覚えています。しかし、この戦争で町は砲撃され、近くに爆弾が落ちたため、祖父母と叔父は住んでいたマンションを出て、別な町に移らなければならなくなりました。

戦争が始まってから、母と祖母は毎日のようにテレビ電話で話をしています。子どもたちに心配をかけたくないのか、詳しい状況を話すことはあまりなく、互いに笑顔を見せ、明るくふるまっています。でも内心は、どれだけ不安で、どれほど悲しい気持ちでいることでしょうか。母が通っていた小学校が焼け落ちてしまったと聞いたときは、とてもつらそうで、私も胸が苦しくなりました。

私の父は、世界情勢についていつも色々と調べていて、沢山の情報の中から私にも戦争の現状を説明してくれることがあります。

あるとき私は、民間人や民間施設を攻撃することが禁止されているにも関わらず、病院や学校が標的にされ、罪のない子どもや女性など多くの市民が犠牲になっていることを聞き、怒りを感じ、批判を口にしました。その時父は、確かにそうだ、ただどんなことも、ひとつの方向からだけ見て判断し、批判することは危険なことだと話してくれました。

その後、この戦争についての色々な記事を見ている中で、私は、日本に住むロシア人が一方的な偏見から差別や中傷を受け、「憎悪犯罪」と呼ばれるものが起きていることを知りました。この日本でも、戦争によって無関係な人たちが傷つけられている現実があったのです。そういえば、ウクライナ人の母は、ロシア人の仲のいい友達と、互いに複雑な思いを抱いていると聞いたことがありました。

ネット社会に生きる私たちは、日々様々な情報を得ています。誰かの言動を批判する意見を見ると、それを正義のように感じ、自分でもよく考えずに批判してしまうことがあるのではないかと思います。それが人権侵害につながるかもしれないとは思わないで・・・

私は、何事もまずよく「知ろうとする」ことが大切だと思うようになりました。そして、多角的な視点で情報を集め、自分で考えて判断することを意識するようになったのです。

そんなとき、生徒会でウクライナへの支援募金をしようという話が持ち上がりました。自分にもなにかできないかと思っていた私は、生徒会メンバーと話し合い、全校生徒の前でウクライナの現状を知ってもらうスピーチを行うことにしました。ポスターも作り、期間中は毎日呼び掛けをしました。その結果、二中学生はもちろん、保護者の皆さんや先生方にも賛同してもらい、予想をはるかに上回る支援金を集めることができたのです。

金額もですが、みんながウクライナの現状を知り、真剣に考えてくれたことがとてもうれしかったです。また、募金の役立て方について、生徒会メンバーで調べ、話し合ったことで、活動がより実りのあるものになりました。

『人権を守る』という難しく感じるかもしれませんが、でも、何事もまずよく知ろうとすること、色々な方向から情報を得て、自分で考え、判断しようとするのが、人権を守る第一歩だと、今私は感じています。

戦争や人権についてだけではなく、私たちの日常生活の色々な場面でも同じことが言えます。校内に掲示してある学校安全スローガン『知ることは自他を守る』この言葉の意味が、今の私にはとてもよくわかります。

私はこれからも、知ること、考えることを大切にして、みんなの人権を守れる人間になりたいと考えています。そしていつも、自分にできることを探して行動する気持ちを忘れないようにしたいと思っています。

* 原文掲載